

平成22年度第1回水道審議会会議録

日 時	平成22年4月13日（火） 午後1時30分～2時50分
場 所	秦野市水道局庁舎2階会議室
出席委員 (◎会長) (○副会長) 〔敬称略〕	◎松下 雅雄、高寺 勝夫、荒川裕美子、田村 雄一、綾部久美子、 大森 悦雄、齊藤 政和、○川口 浩太、栗原千恵子、山本久美子、 今井 新一、府川 泰史 12名
欠席委員 〔敬称略〕	八木英一郎、古谷 茂男、欠員1名
委員以外 の出席者	市長 古谷 義幸 水道局長 山口 誠一 水道業務課長 宮村 慶和 水道施設課長 松本 克己 水道業務課長補佐(庶務担当) 福井 哲也 水道施設課長補佐(建設担当) 仁平 康則 水道業務課長補佐(経理担当) 原 正人 水道施設課長補佐(維持担当) 原 廣行 水道業務課長補佐(料金担当) 田中 和也 水道施設課長補佐(浄水担当) 大原 享 水道業務課庶務班主査 宇佐美高明 水道施設課長補佐(給水担当) 根岸 毅 水道業務課庶務班主査 和田 安弘
会議次第	1 委嘱状の交付（机上交付） 2 市長あいさつ 3 委員紹介・事務局職員紹介 4 開会 5 正・副会長選出 6 正・副会長あいさつ 7 議事 (1) 平成22年度秦野市水道事業会計予算について (2) その他 8 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 第1回秦野市水道審議会次第 ・秦野市水道審議会委員名簿 ・資料1 平成22年度秦野市水道事業会計予算総括表 ・資料2 平成22年度水道局主要施策説明書（様式A） ・資料3 平成22年度秦野市水道事業会計予算書 ・資料4 5年間の秦野市水道事業会計決算の推移 ・資料5 5年間の水道料金収入の推移 ・資料6 5年間の水道利用加入金収入の推移 ・資料7 平成22年度水道審議会開催日程表 ・はだの水道ビジョン、平成20年度水道事業統計要覧 ・秦野水道百年史

<p>事務局 課長補佐(庶務担当) 市長</p>	<p>はじめに、市長からごあいさつ申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。</p> <p>さて、私は、3月議会の施政方針で「ライフラインの維持に欠かせない老朽施設の更新と耐震化を、より積極的に進めるため、適正な料金体系のあり方を検討していく」と申しました。</p> <p>この議会でも、議員の皆様から、水道審議会で、十分、検討・審議してもらうように、との御意見を頂戴しており、今年の水道審議会には、これまでに増して皆様のお力をいただきたいと考えています。</p> <p>どうぞ、よろしくお願ひします。</p>
<p>事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>次に、秦野市水道審議会委員名簿の順に、松下委員から自己紹介をお願いします。</p> <p>—各委員自己紹介— —市長、公務の都合により退席— —水道局長以下、職員自己紹介—</p>
<p>事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>秦野市水道審議会規則第3条で、「15人の委員により組織する。」こととしていますが、1名の委嘱がまだですので、14名での組織となりました。本日、委員総数の半数以上の出席がありましたので、秦野市水道審議会規則第6条第2項の規定により、審議会が成立していることを報告します。</p> <p>それでは、平成22年度第1回秦野市水道審議会を開会します。まず、会長及び副会長の選出ですが、事務局で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 課長補佐(庶務担当) 高寺委員 事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>—異議なし—</p> <p>会長及び副会長の選任については、秦野市水道審議会規則第5条第1項の規定により、委員の互選で定めることになっています。事務局に一任します。</p> <p>それでは、指名推選としたいと思います。</p> <p>今回は、市長も申しましたように、料金のあり方についての検討をお願いしたいと考えていますので、委員としての豊富な経験や、前任期において会長、副会長の経験がある、松下委員を会長に、川口委員を副会長に推薦したいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>—異議なし—</p> <p>会長は松下委員、副会長は川口委員をお願いします。 (両委員は、それぞれ会長席、副会長席へ移動)</p> <p>—会長、副会長着座— —会長、副会長あいさつ—</p>

<p>事務局 課長補佐(庶務担当) 松下会長</p>	<p>会長に進行をお願いします。</p> <p>次第に従い、「議題1 平成22年度秦野市水道事業会計予算について」を議題とします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p> <p>—資料の確認—</p> <p>—水道業務課長が資料4、5、6、1、2、3の順に説明—</p>
<p>松下会長 田村委員</p>	<p>事務局からの説明について、意見、質問をお願いします。</p> <p>給水収益について、業務用が減っていることは分かりますが、減っている企業を特定しているのでしょうか。</p>
<p>局長</p>	<p>また、減少の理由を把握していますか。</p> <p>はい。水道使用量が減少している企業に職員が直接出向き、状況について伺っています。多くの企業では、できる限りの節水努力を行ってはいますが、一番影響しているのは景気による受注の減少で、景気が上向けば、水道使用量は増加する状況にあります。</p>
<p>山本委員</p>	<p>特にコンピュータ基盤を製造する企業では、その洗浄に水道水を使用していますが、注文が減っているために水道使用量も減っているとのことでした。</p> <p>大手2社で約7,000万円減少しています。水道使用量が一番多い事業所では、ピーク時に現在の約4倍の水道使用量がありました。</p> <p>浴場用はないということですが、市内にいくつかの温泉施設があります。これらの施設へは、業務用として水道を供給しているのですか。</p>
<p>水道業務課長</p>	<p>そうです。条例で、温泉、サウナは除外しています。銭湯などに浴場用料金を適用します。</p>
<p>高寺委員</p>	<p>水道管の耐震化率について、全国平均は約34パーセントで、事業者ごとにばらつきがある、という新聞記事を読みました。</p>
<p>水道業務課長 局長</p>	<p>はだの水道ビジョンの中で、平成19年度の管路の耐震化率は15.4パーセントとなっています。</p> <p>現在、この数値がどの位になっているのか、また、1年間でどの程度の耐震化が進むのか、教えてください。</p> <p>平成20年度末現在で、16.1パーセントです。</p> <p>本市の水道本管、約690キロメートルのうち、16.1パーセントが耐震化されています。距離で約110キロメートルですから、残りの約580キロメートルは計画的に耐震化に取り組まなければなりません。</p>
	<p>配水管の改良としては、現在の予算である1億4,000万から5,000万円程度では、1年間に1キロメートルから1.5</p>

高寺委員

キロメートル程度の整備しかできません。この計算だと、すべてを整備するためには、300年以上かかってしまいます。

現在、このことについて、何年でどの程度まで整備ができるか、また、整備するのか、検討しているところです。

全国428ある水道事業体のうち、耐震化率が、5パーセント以下は75事業体、0パーセントは20事業体、90パーセント以上は29事業体、100パーセントは16事業体というように非常に差があります。安くておいしいと宣伝していますが、耐震化が進まず、危ないということでは困ります。そこまでお金をかける必要はない、という議論がある一方で、耐震化には、急いで対応しなければなりません。

しかし、整備するとなると、料金を上げざるを得ないということも考えられます。今後、市民の意識も含め、この点も一緒に考えていかなければいけないと思います。

松下会長

課題の多い内容ですが、今後、審議をよろしくお願ひしたいと思います。

ほかには、ありませんか。

—特になし—

松下会長

次に、「2 その他」として、何かありますか。

水道業務課長

今後の日程について説明させていただきます。

—資料7について説明—

松下会長

今後の日程について、意見、質問はありますか。

—特になし—

松下会長

ないようでしたら、事務局から連絡事項等をお願いします。

—事務局から次回の日程調整など事務連絡—

松下会長

第2回審議会は、施設の視察を含め5月19日(水)とします。

最後に、本日の議事、審議会の運営についてなど、ほかがありましたら、お願いします。

大森委員

資料3について質問させてください。

7ページ、原水浄水費の中に、県水受水費が含まれていますが、浄水されている県水を受水する費用が、なぜ原水浄水費に含まれているのでしょうか。

局長

原水浄水費は、水道水を製造する費用で、本市の場合、原水としての地下水や河川水を浄水する費用として計上しています。このほかに、そのままでも供給することができる県水を原水として受け入れ、給水していますので、この費用を、分類上、原水浄水費に計上しています。

大森委員

原水浄水費の中で、県水受水費が非常に大きな割合を占めています。これを小さくすることはできないのですか。

局長	県水の受水費として、予算計上している6億円のうちで、5億5,000万円は基本料金で、非常に大きな影響があります。引き下げを求めています、厳しい状況です。
山本委員 局長	買わなければいけないのですか。 本市が購入しない場合、その分を他の事業者が負担することになりますが、他の事業者では負担できないということで、非常に難しい状況にあります。
松下会長	ほかに何かございますか。
松下会長	—特になし— 以上をもちまして、平成22年度第1回秦野市水道審議会を終了します。

〔午後2時50分終了〕